

標 題 : Adherence to the Mediterranean diet and risk of breast cancer in the European Prospective Investigation into Cancer and Nutrition cohort study
「癌と栄養に関するヨーロッパ追跡調査」コホート研究における
地中海食事の順守と乳癌のリスク

著 者 : G. Buckland, et al. (スペイン カタロニア腫瘍学研究所
癌疫学研究計画 栄養・環境と癌ユニット)

掲 載 誌 : Int. J. Cancer 132: 2918–2927 (2013)

要 旨 :

地中海食事は乳癌のリスクを低下できると、疫学研究が示唆している。

追跡研究からの証拠はまだ少なく矛盾しているため、1992年から2000年にヨーロッパの10カ国で募集した女性335,062人を平均11年間追跡して、地中海食事の順守と乳癌のリスクとの間の関連を、我々は調査した。

地中海食事の順守を、適合した相対地中海食事(arMED)のスコアでアルコールを除外して評価した。

乳癌のリスクを調整しながら、Cox 比例ハザード回帰モデルを使用した。

全体で閉経後に9,009件および閉経前に1,216件の浸潤性乳癌の最初の発症が確認された(5,862件はエストロゲンまたはプロゲステロン レセプター陽性 [ER+/PR+]で1,018件はエストロゲンおよびプロゲステロン レセプター陰性 [ER-/PR-])。

arMEDは全体および閉経後女性の乳癌リスクと逆相関した(arMEDスコアの高対低で:それぞれハザード比[HR]=0.94[95%信頼区間(CI): 0.88-1.00]、p動向=0.048、およびHR=0.93[95%CI: 0.87-0.99]、p動向=0.037)。

関連はER-/PR-の腫瘍でさらに強調された(HR=0.80[95%CI: 0.65-0.99]、p動向=0.043)。

閉経前の女性では、arMEDスコアは乳癌と関連しなかった。

アルコールを除外した地中海食事の順守は閉経後の女性で乳癌リスクの控えめな低下と関連すると我々の研究結果が示しており、この関連はレセプター陰性の腫瘍で強かった。

結果は、食事変更による乳癌予防の可能性を裏付ける。

キーワード: 乳 癌、ヨーロッパ、地中海食事、追跡研究
